

平成28年度第1回魚沼市男女共同参画推進委員会 議事要旨

日 時	平成28年12月12日(月) 13時30分～15時40分
場 所	小出庁舎2階 201会議室
出席者	【委 員】石川伊織、金子富美子、貝瀬直子、瀬下利香、富永洋介 山本英二、齋木富美子 (欠席：なし) 【事務局】企画政策課企画政策室 森山課長、桑原室長、小島係長、浅井主任

(会議の要旨)

1 開 会 (13:30)

2 市長あいさつ

本日はお忙しい中お集まりいただき、また新潟県立大学の石川先生を始め、日頃から各方面でご活躍されている皆様方から、男女共同参画推進委員会委員を快くお引き受けいただき、感謝申し上げます。私は選挙公約でも若干女性の社会進出をうたっていたが、非常に重要な施策のひとつだと考えている。男女共同参画が不可欠な状況であるため、皆様からしっかりとご審議いただき取り組みさせていただきたい。また平成27年度には、急激な人口減少・少子高齢化という状況で、この地域は特に人口減少が歯止めがかからず、新潟県の市の中でもワースト2位と、高齢化が進んでいるということと、人口流出が多いということで、男女平等意識をもって、地域を支えていける現状を作り、皆様からいろいろな知恵をいただき、推進できればありがたい。

3 委嘱状の交付

4 委員及び事務局紹介

5 推進委員会の位置付け及び役割について (資料1) 資料No.1に沿って説明 (事務局)

6 議事

(1) 会長、副会長の選出について

事務局一任との委員意見有、事務局案として会長に山本英二委員、副会長に貝瀬直子委員を選出し、委員全員から承認された。

(2) 第2次魚沼市男女共同参画推進計画 検証結果報告書（案）について

(資料事前配布)

資料に沿って説明（事務局）

(委員) 全部そうだが、成果と書いてあるが、成果とはやったことが十分であったか、そうでなかったかであり、ここにはやったことしか記載されていない。しかも不十分なのは数値の増減が沢山あるのに、なぜそういうことになったのか、その分析がない、男性の参加が少ないとあるが、男性の人数が出ているところがほとんどない。言葉しかでていないところもある。5頁の母子健康相談・教育事業では「妊娠期の不安軽減を図りました。」とあるが、何をやって不安の軽減を図ったか。また、その下の家庭教育事業の参加者数が、平成27年度で大幅に減っているが、なぜ減ったのか、その分析がない。

「促進しました」も、具体的に何をやってどのように促進したのかがない。パンフレットはどこに何枚配布したのか、そのうち何枚はけたのか。成果とすれば、何枚はけてどのくらいの浸透があったというのが見込まれるというのが成果のはずだがそれがない。また、平成23年度からの計画なのに未実施だった事業もあれば、平成27年度しか実施していないものもある。

24頁の家族介護支援事業のサポーター養成人数は、なぜ年度によりこれほどばらつきがあるのか。また養成したサポーターは今何をしているか、どういう風にサポートしているか、その活動を継続しているのは何人か。また、人権教育は、大事けれども男女共同参画に関して何をやったかが記載されていない。32頁の介護保険低所得者負担対策事業は、どういう風に負担を軽減する対策をしたか、利用者はどういう利用をしたか。そのうち、男女共同参画の話だとすると、女性の高齢者でこのサポートを受けた人が何人いたか、それがなければ、これは高齢者対策であっても男女共同参画の事業ではない。男女共同参画のためにこの高齢者対策で何をしたかが大事だが、それが記載されていない。男性の参加者を増やすために、何を重点的にするか。そういうところをお示しできる文章を作っていただきたい。一番心配なのは未実施がいくつもあるということ。

(会長) 私も男性の内訳が記載されていないのが非常に気になり、具体的に何をやったか、もう少し聞きたいところがあちこち目についたのがあった。これに対して事務局は説明をお願いしたい。

- (事務局) ご指摘のとおりと思っている。他にも内容が不十分なところについて、あとで確認をさせていただきたい。今日この場で最初から確認することは時間もかかるため、のちほど委員と補強する部分を確認した上で修正したい。
- (委員) 長岡市では、委員から審議会前に気がついたことを全部書き出して持ち寄ったものを事前にチェックし、当日は担当部課長全員が出席し、答弁している。
- (会長) 私も他に聞きたいと思っていたが、口頭では時間的にも難しい点もあるため、可能なら、文書で質問等が出せるような形にしてもらえると、事務局も整理しやすいと思ったが、皆さんや当局からいいアイデアがあればそれに基づいて進めていくということはいかがか。
- (委員) 前回もそうだが、立ち上がりにこれをしなければならぬ義務というだけで帳面上、表面あわせでやってきたことが今、こういう結果になってきていると思う。委員のお話をされている基本的なところがこの何年間かできていなかったの、表面上浮いてきたことをいろいろ指摘されても根本的な解決にはならない。この計画の一番基本的な意とすることを汲んでいなかった気がする。
- (委員) やればよいという形だけのところがある。1つ1つきちんとやると、とても大変だと感じたし、本気でやるのか、ちょうどよくやるのか、しっかりやるなら、今までは今までとして、もう一度改めていく必要があると感じた。
- (会長) 小千谷市の計画とか見たが、はまればはまるほど見えてくるものがあると感じた。出てきた意見を汲み上げながらいいものを作ることが市民に対しての使命だと思う。
- (委員) 数値が下がったところや不振な点については、担当部署に説明していただかないと検証にならない。不十分なところは、要求することが重要。今出せなければ来年から出せるように要求していただかないと、結局何をやったかわからない。
- (事務局) 事務局の方で、後日委員の皆さんから意見を徴収するための様式を送付させていただくということによろしいか。
- (委員) 参考資料に庁内推進委員会委員名簿があるが、この庁内委員が本当に、今委員が頑張っているという雰囲気伝わっているか、職員の意識改革をしていただきたい。ちょうどよくやっているのではなく、自らが腰を据えて取り組む位の気持ちになってもらいたい。
- (会長) 今の意見については、事務局の方でお願いします。また確認だが、この後意見を提出し、事務局でもう一度庁内に照会をし、分析を含めてとりまとめをし、それは次回が必要と思うが、その前にまた文章がくるという感じか。
- (事務局) どういったやり方がよいか、内部で検討する時間をいただきたい。

(3) 第3次魚沼市男女共同参画推進計画 実施計画事業一覧(案)について
(資料事前配布)

資料に沿って説明(事務局)

(委員) この実施計画というのは、庁内委員から出てきているということでよいか。

(事務局) そのとおり。

(会長) 5年間の中で事業の改廃はありうるか。

(事務局) 5年間の中で予算措置の状況は、毎年本市の財政事情により決まるため、内容は変わる可能性は十分にある。予算がゼロの事業については、予算をかけないでもできるものをご理解いただきたい。

(委員) 3頁の人権教育総合推進地域事業は平成30年度から予算の記載がないのはなぜか。同様に14頁の公立保育園等整備事業も、平成31年度以降の予算の記載がないのはなぜか。

(事務局) 3頁の人権教育総合推進地域事業はあとで確認する。14頁の公立保育園等整備事業は、平成30年度で事業が終了するというもの。

(委員) 市民の皆さんの理解が不可欠と言うことで、この計画を提示されたときに、市民の方がどう見るか、難しいと思ったので、表現等が軟らかくできる場所があればありがたいと感じた。例えば、推進するとかは、今までよりもさらに拡大するのか、それとも同じものを継続するのか、どのように推進するのか記載があった方がわかりやすいと感じた。

(委員) 情報提供は具体的にどうするのか明確でなく、わかりにくい。

(委員) 男女共同参画の資料の内容がすごく多くて驚いた。幅広いというか、全体を考えていく必要があると感じた。一つ一つやっていくと時間がかかるので、どのようなことからやっていくとよいかと思った。

(委員) 積算根拠が明らかになる数字がないと意味がない。検証結果報告書と関連するが、例えば1頁の地区公民館講座教室事業は、これまであがっているのは「作って楽しい米粉クッキング」「子育てパパママ応援します」で、「はじめてのベビーマッサージ」は新規事業で、「これまでこれだけやってきたから、さらに進めるためにはプラスこれが必要」という予算のとり方なのか、それとも単に「など」と書いたから書かなくてもいいということなのか。結局何やるかよくわからない。「各事業ごとに予算額を積算していないから予算事業全体での予算額を記載」よりも「個別に予算を積算していないから、公民館事業からこのくらい予算を使う予定でいる。」の方がまだわかる。また、1頁の家族介護支援事業は、研修会の開催で何が違うからこの予算になるのか。2頁の「広報・広聴事業」は、ほかの市の広報・刊行物における表現に配慮する2事業は予算がゼロなのに、何をするからこんなに予算がかかるのか。6頁の「各種審議会等委員への女性の積極的な登用推進」はどうい

う形で推進するのか。同じ頁の「コミュニティ活動支援事業」は促進するために、具体的にどういう働きかけをする予定か。7頁の「新規起業支援事業」はいくらを何人に補助する予定か。うち女性に何人割り当てる予定か。割り当ててみたが全員男性だったら、男女共同参画の事業にはならない。具体的に何を何回誰を呼んでいくら使ってどれだけする予定か。それは昨年までの成果の総括と、どうつながっているのか。昨年と同じことやるから昨年と同じでよいというのは、それは実施していないのと同じ。

(事務局) 今ご指摘があった第2次の検証と重要な関係がある点、そのとおりで、関連しなければならないと考えている。予算については、これすべてが男女共同参画に関わる予算ではないと捉えられてしまうかもしれない。第3次の計画書の44頁をご覧いただきたいが、これまでの反省点として、第3次では施策の方針のところに数値的な目標を設定した。この5年後に掲げられている目標を達成するために、各事業の中でどういうことをやって、目標まで上げる努力をするのか、そのためには毎年このくらい参加者を増やすことが、数値を上げることになるのか、それとも同じ位の人数でもいいが、その時にこの内容までわかるパンフレットを全員に配るとかと書くことで、もっとわかりやすいものになる。魚沼市では1つ1つ事業シートを作っているが、男女共同参画を掲げている事業について、男女共同参画に特化した記載をするよう話しているが、それが十分でないため、担当にもう一度見直して男女共同参画の視点で書くよう指示したところである。事業費も大事だが、それよりも今年は何をどの程度やって、こういう数字を大事にしているというのをここに記載することも大事だということを、再度担当に徹底させて、前段の検証と関連するよう、修正したいと考えている。

(委員) 肝心なのは何を何回やって、目標はここと示すこと。

(委員) 全部同じように記載されているが、5年間毎年同じようにするのか、あるいは平成29年度はこれを重点的にするとか、それはどのような感じか。

(事務局) ここに掲げた事業は、男女共同参画のためだけではなく、ほかの目的もあわせ持っているものがある。この部分だけ平成29年度はこれを重点的にするとかということについては、目標とするところについて齟齬が出てしまうと考えるため、むしろいくつかの事業の中で担当が男女共同参画の意識付けを持っていくことが重要と考えている。

(委員) 指標を達成するために、該当する事業(講座等)があると思うので、指標に上げたものだけでもよいので、それをあげるといいかと思う。まずは男女共同参画という言葉を知らないと先に進まないで、まずはここからとか、順番つけて流れをつくっていくといいと思う。

(委員) 行政がめりはりをつける部分と持続しなければいけない部分と見極めをつけるということも大事。11頁の「施策の方針3 高齢者、障害者、外国人

等が安心して暮らせる環境の整備」で外国人に関する事業がないのは、まずくないか。

(会長) 9頁の「施策の方針3 男性の立場からの男女共同参画の促進」は男性からくる生きづらさとかつらさみたいなことに対する環境整備をやっていくものと考えていたが、そういう意味合いの事業が少ないと感じた。また、8頁の「重点目標2 仕事と生活の調和のとれた働く場の環境づくり」の事業にある「情報提供の実施」は、予算の問題ではないと思っはいるが、パンフレットの配布とかそれだけでは理解の促進につながらないと、働き方よりも働かせ方の方が問題だと強く思っはいて、より積極的に市内の事業所あるいは経営者と意見交換をする場がどうしても必要で、市として把握、調査、分析する必要があると思う。

(委員) 8頁では商工振興室は再掲ばかり。

(委員) 私はこれをやるという積極的な決意表明が欲しい。

(委員) パンフレットやチラシは、関心のある人しか持って行かない。パンフレットやチラシ配布のフォローアップは難しいとは思っはうが、それを見て働き方を変えた人がいたとか、どれだけ成果があっはたか。

(委員) チラシやパンフレットは何部置いてどのくらいはけたか。誰がどういう目的でどうやっはつてつくっはたか。どこからもらっはたか。

(事務局) おそらく国や県等が作成したものを配布しているかと思う。

(会長) 小千谷市の実施状況報告では、農協や商工会に何部配布したとの記載があっはたため、積極的に配布しているなら、そういうのも記載すると活動が見えてくると感じた。

(委員) 13頁の「施策の方針2 公的支援制度や施設、保育施設等の整備充実」では、高校生に対する補助は全くないか。

(事務局) 市の政策は今ここまでだが、これから実施することが明らかになれば、ここに追加したいと思っはている。

(委員) 南魚沼市旧大和町では、妊婦が母子手帳をもらっはた日から産んだ1ヶ月後まで妊婦の医療費を助成しているし、ある自治体では20歳まで助成しているところもあれば、小学校までのところまでもある。

(委員) 教育のところでは、先生にお願っはするだけで子供達に対しての教育はあるか。

(事務局) 学校の中で教える時間は限られているため、教育委員会から、総合学習などを通じて子供達に教育を行うよう指導している。

(会長) 5頁の図書館管理運営事業では、男女共同参画コーナーができなかつはたからこのような記載になつはたのか、既存の資料を置くだけなので、予算は特にかからないため、既存のコーナーを復活してホームページなどでアピールすると魚沼市の男女共同参画に取り組んでいるというPRになると感じた。

(委員) この資料の作り方は、各課からこれに関してこれまではこれをやってきて、これからプラスこれをするとあがってきたものか、それともこれをやってくれと要請してあげたものか。

(事務局) 第3次で基本目標等を策定し、この施策の展開に関して、実施する事業を各課から上げてもらったものがこの事業一覧になっている。

(委員) 足りない部分はもっと上げてと要請したか。

(事務局) 要請したものもある。

(委員) 図書館事業でも、既存の資料と積極的な活動で、もっとやれることはあるはず。面倒と思わず、この数値目標を実現するために、ここでできることをよく考えてもらって、声をかけてもらい、これまでやっていなかったことを1つでも2つでも多くやれるよう、より積極的にやっていただくと嬉しい。

7 今後の日程について (資料2)

(事務局) さきほど議事にあった第2次魚沼市男女共同参画推進計画検証結果報告書(案)と、第3次魚沼市男女共同参画推進計画実施計画事業一覧(案)について、これから委員の皆さんとのやりとりと、それを受けて庁内推進委員会との調整があるため、それを踏まえた中で、次回委員会日程は未定だが、会長を通じて改めてご案内させていただきたい。したがって資料2は、参考ということでご理解いただきたい。

(会長) 会議資料等の公開は、公開すべき期間はあるか。

(事務局) 特にない。

8 その他

9 閉会 (15:40)